令和７年度の災害対応力強化の総括と令和８年度の取組について

危機管理部 危機管理課

１　令和７年度の取組成果

（1）自主防災組織・飯田市と協働した取組の成果

①公開型 GIS いいだ Web まっぷの導入検証により、災害対応への実装目途がついた。

・災害情報集約の効率化、初動対応の迅速化、市民広報への活用が期待できる。

・「投稿された災害情報ごと固有番号を自動採番する」機能改修を令和７年度中実施（前倒し）する。
これにより、庁内対応調整、報告書類作成等が効率化する。
※災害時専用マップ以外でも本機能が使用できるため、各部署の様々な平時業務にも活用可。

②避難所の生活環境の向上に繋がる取組を実施できた。

・指定避難所レイアウトの修正（女性、子育て世代等の視点を反映、仮設トイレ設置場所設定）
　→令和８年度の地震総合防災訓練で実動訓練実施。

・自主防災組織においても、トイレ関係物品を重点的に整備していただいた（市補助事業）

（2）飯田市の取組成果

①実災害時、初動対応の方針及び広報に関する参考資料ができた。

地震総合防災訓練で各災害対策班が作成した資料（対応方針、市民広報）を下記フォルダに保存。

主担当者不在でも、状況に応じて修正を加えれば一定の対応が可能。

また、平時の実効性強化（訓練等）を進めるための基礎資料となる。

→　¥¥Filesrv1¥0250_共有短期¥0120_危機管理部¥★実災害対応　大地震¥参考　R7 地震訓練

②災害対策班の実情に応じた取組と令和８年度の取組に資する課題把握ができた。… 資料№10-２

【例】・福祉避難所を増設した（長寿支援班）
・避難所となる学校内のトイレが使用できない場合も想定し、便袋の管理・排出を踏まえた、新たな非常用簡易トイレ設置場所について学校側と協議した。避難所レイアウトに追記し、次年度訓練での検証に備えた（南信濃地区拠点班）
・下水道使用制限エリアの情報発信に係るデータ作成及び情報伝達マニュアル作成（下水道班）
・いいだ Web まっぷ操作を習得した、視覚的な広報を実現した（複数の班）

③地震災害時における職員の自動参集の明確化 … 資料№10-３

自動参集内容を明確化するため、参集基準（①第１配備　②第２配備　③第３配備）に合わせて、職員参集メールの文面を改修した。（令和８年１月 20 日通知発出済）

【変更前】１種類（震度速報 長野県南部　震度４以上）のみ。

【変更後】３種類（　　　　〃　　　　①震度４、５弱、②震度５強　③震度６弱以上、７）

２　<u>今後の実災害対応：いいだ Web まっぷを使用する</u>

（地域・行政協働の土壌が可能にする、"<u>飯田らしい災害対応</u>"のモデル的な取組です）

⇒災害情報集約（庁内外の情報共有）、災害対応の基礎資料として活用。

〇災害情報の通報はいいだ Web まっぷに投稿してください。ただし、人命等に関わる重要情報は、投稿に加えて危機管理課や関係班へ連絡（電話・声掛け）してください。

〇投稿は誰でもできるようにするとともに、班の災害対応にご活用ください。

投稿方法は、防災訓練説明会において周知済。

令和８年３月 11 日（水）に若手職員、希望者対象の研修予定。

【実災害投稿用】災害時専用マップ ›

3　令和８年度の取組

令和７年度は、令和６年度までの取組（対応方針、市民広報、事業者等との連携内容の明確化等）の定着と新システム導入検証の１年でした。令和８年度はこれらを「実装」する１年とします。

(1) 全体方針

令和８年度は、誰もが、いつでも、対応できる組織的な災害対応力の強化を目指す。

⇒キーワード：「３つの実装で、“普通”を１段高める」

(2) 重点取組＝３つの実装　＜技術、人、業務＞

①いいだWebまっぷの実災害運用（検証段階→実災害での標準運用へ）

②主担当者不在でも対応できる班体制構築（主担当者中心→複数名対応、交代・相談できる組織へ）

③事務分掌の実効性検証と改善サイクル確立（役割認識・単発改善→継続的・計画的な改善態勢へ）

【数値目標】

①いいだWebまっぷ等の活用を、各班は災害対応マニュアル等に記載する。

②主担当者不在時の対応体制構築

・各班において、主担当者以外に、実務の指揮をとれる職員を２名以上確保

→地震総合防災訓練（実動訓練）で実証・改善

③各班事務分掌の着手状況把握　※取組結果を踏まえ、令和９年度に数値目標を設定。

・６月末：各班の事務分掌を確認し、着手済事項と未着手事項を整理

… 着手済事項：事務分掌と災害対応マニュアル記載の対応手順との整合性を検証

未着手事項：着手に向けた課題の洗い出しと取組方針を検討

※進捗確認は、６月末、９月末、12月末の３回を予定

(3) 全市統一防災訓練等の日程　※訓練詳細は別途説明会実施

①自主防災リーダー養成研修会　５月　８日（金）夜間

②土砂災害・全国統一防災訓練　５月31日（日）午前

③飯田市地震総合防災訓練　８月30日（日）午前

各訓練日は、地域でも防災訓練が行われます。
住民の皆さんにとって大切な防災学習機会となるので、各課主催事業は別日程で実施するなど、市としての一体的な取組推進にご協力ください。

(4) 各部・班への依頼事項

①令和７年度に把握した課題（資料№10－２）をもとに、班の実情に応じて着実に進めてください。

②令和８年４月以降、主担当者以外で、実務の指揮をとる候補職員を２名以上選定してください。
また、事務分掌の着手状況把握を順次進めてください。（危機管理課から様式含めて別途依頼）

③その他

・人事異動等により主担当者が交代する場合は、通常業務と同様に引継をしてください。

・気象庁による新たな防災気象情報が、令和８年出水期（５月下旬）から使用される。
特に当市に影響を及ぼすものとして、土砂災害に関する情報が新設。
レベル３土砂災害警報、レベル４土砂災害危険警報 等（※土砂災害警戒情報は廃止）

4　令和８年度に自主防災組織等で推進していただく取組

①いいだWebまっぷ活用（訓練・実災害使用、各地区の防災計画やマニュアル等への記載）

②避難所レイアウトに基づく実動訓練

③防災アセスメント調査結果に基づく備えの促進

⇒地区別の様々な被害想定を示した防災カルテを、各地区防災計画に反映させるとともに、防災学習その他必要な備えを進める（自治振興センターと協働）。

④スマートフォン向け飯田市防災アプリ“結防”の活用 … 資料№10－４

個人、家庭、組合等で活用できる機能改修を実施した。今後、研修等を通じて活用する。

… 備蓄品更新期限のプッシュ通知、組合で使える安否確認機能（※組長の負担軽減にもなる）